

2021年度 専修大学経営研究所 第3回定例研究会

ラオス簿記普及プロジェクト ーオンラインセミナーの可能性の検討ー

2021年11月30日(火)13時05分ー14時
【Zoomによるオンライン開催】

国田清志(専修大学商学部教授)

経営研究所大型助成研究代表者

2020年度経営研究所大型研究助成(2021年4月1日～2022年3月31日)

＜共同研究者＞

伊藤和憲(商学部教授)・菱山淳(商学部教授)

青木章通(経営学部教授)・岩田弘尚(経営学部教授)

本報告には、共同研究グループの見解の他に、報告者個人の意見も含まれている部分がある。
この点については報告者の責任による。

研究助成「研究課題」 ラオスにおける会計教育の充実に関する研究 ー 学習教材開発とその効果性の検証 ー

■ 研究の概要

ラオスにおいてどのような教材を用いれば効果的な会計教育が可能となるのかという視点にもとづき、
ラオ語による簿記検定試験の学習教材をレベル別に開発し、その効果を現地での試験を実施することを通じて検証する。

＜当初の2021年度の予定＞

- ◇ ラオ語による簿記テキスト(初級レベル)の教材を利用してもらい、学習効果の検証をアンケート調査およびインタビュー調査に基づいて行う。
- ◇ 簿記テキスト(中級レベル)の学習教材を開発する。ラオスでの検定試験の実施(プレテストを含む)に向けた問題を開発する。
ラオスで実施される簿記検定試験と開発したテキスト教材(2つのレベル)に関する学習効果の検証をアンケート調査およびインタビュー調査に基づいて行う。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

ラオスにおける簿記プロジェクトのこれから

(2020年度経営研究所第3回定例研究会報告2020年12月8日)

- 簿記テキストの開発と簿記セミナーとの関係
 - ・ 学習教材開発とその効果性の検証のためには、書籍化の前に簿記セミナーを実施することが重要であるとする。
 - ・ 簿記の普及や中級レベル・上級レベルのテキスト教材の開発にも役立つ。
- ラオスに渡航してセミナーが開催できない場合、他の方法の検討の必要性
日本からのオンラインによるライブ講習会やデマンド動画配信など。
- ラオスの簿記検定試験をペーパー方式で実施するにあたって
日本におけるネット試験方式で良いと評価できる部分は積極的に取り込んでいけば効率的な検定試験の仕組みをスタート時点から設計できる可能性がある。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

簿記テキスト(初級レベル)の内容と作成のフロー

□ 初級簿記テキストの4つのテーマ

- ・ 初級レベルの4つのテーマ別にテキストを作成する。
 - ①商業簿記: 仕訳・現金出納帳(担当国田清志) ②商業簿記: 試算表(担当菱山 淳)
 - ③工業簿記: CVP分析(担当伊藤和憲) ④工業簿記: 原価計算(担当岩田弘尚)

・ 作成のフロー

日本語原稿の作成 → ラオ語翻訳 → NUOLのメンバーによるネイティブチェック → テキスト資料まとめ

- ◆ 現在、ラオ語による初級簿記テキスト資料は、PDFデータ形式の他に、冊子形式(約100ページ)でまとめている。
⇒ テキスト資料を確認する。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

簿記テキスト(中級レベル・上級レベル)の内容

□ 簿記テキストの中級レベル・上級レベルのテーマ

・ 中級レベルの2つのテーマ

- ①商業簿記: 決算整理手続・精算表(担当国田清志)
- ②工業簿記: 個別原価計算と総合原価計算(担当青木通章)

・ 上級レベルの2つのテーマ

- ①商業簿記: 財務諸表(担当菱山 淳)
- ②工業簿記: 標準原価計算と直接原価計算(担当梅田 宙)

- ◆ 現在、工業簿記の中級レベルと上級レベルはネイティブチェックの段階である。
商業簿記は12月中での翻訳作業の完了を目指して作業中である。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

簿記セミナーのオンライン開催に向けて

- ◇ 簿記テキストの開発とその効果性を検証するためには、簿記セミナーを実施することが重要であるとする。
そこで、オンデマンド動画配信による簿記セミナーの実施の可能性を検討する。

<考えるべき事項>

- ・ オンデマンド動画の作成
- ・ 簿記セミナーのオンラインを前提とした実施形態(オンデマンド動画の公開方法や公開期間)
- ・ セミナー受講者の質問やコメント・意見への対応
- ・ 模擬問題や模擬テストの実施

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

オンデマンド動画の作成のフロー

□ オンデマンド動画の作成のフロー

- ・ 簿記テキスト資料(初級レベル)を用いて、4つのテーマ別に解説動画を作成する。

- ①商業簿記:仕訳・現金出納帳(担当国田) ②商業簿記:試算表(担当菱山)
- ③工業簿記:CVP分析(担当伊藤) ④工業簿記:原価計算(担当岩田)

- ・ 作成のフロー

担当者によってラオ語のテキスト資料の日本語解説を録画 → ボイスオーバー方式でラオ語通訳を上乗せ録音

- ◆ 現在、初級レベルのオンデマンド動画は、4つのテーマごとに作成している。

⇒ オンデマンド動画を確認する。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

オンデマンド動画に関する予備アンケート

□ NUOI学生へのオンデマンド動画に関する予備アンケート

8月下旬に一定期間を設けて、Googleフォームを使ってかなり限定的に実施した。

> 簿記テキスト資料やオンデマンド動画のデータが流出しないようにするため。

⇒ 有効回答数は4件であった。

<質問項目>

- ・ オンデマンド動画の満足度(5点リッカート)
- ・ 動画視聴のデバイス(PC / スマートフォン / その他)
- ・ 動画視聴時に希望する資料形態(PDFデータ / PDFプリントアウト / Text Book / その他)
- ・ 理解しやすかったテーマのデマンド動画
- ・ 感想や意見

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

予備アンケートの結果と分析

◆ 予備アンケートの結果

- ・ オンデマンド動画の満足度は認められる。

→ 平均値 4点

非常に満足(5点) 1件・満足(4点) 2件・普通(3点) 1件・不満(2点) 0件・非常に不満(1点) 0件

- ・ オンデマンド動画の視聴は4名全員がスマートフォンで行っていた。

→ ラオスにおけるスマートフォン普及率は約79%、インターネット普及率は約43%

(Digital 2020: Laos — Data Reportal – Global Digital Insights)

- ・ テキスト資料の形態ではText Bookが、スマートフォンとの組み合わせにおいて適性があると考えていたが・・・

→ PDFデータ 2件 PDFプリントアウト 1件 Text Book 1件 その他 0件

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

◆ 予備アンケートの結果

<コメントや意見から一部紹介>

- ・ ラオ語の音声(ボイスオーバー)がスムーズでないところがある。

→ ラオ語の音声翻訳や日本語での説明動画とのズレに原因があると考えられる。

専門的用語だけでなく、勘定データの流れなどの説明が多く出てくるので・・・

※ ラオ語の音声翻訳の担当者のスキル

担当者による日本語での解説音声や画面の操作の動きとラオ語での説明音声の時間の尺の違い

※ 日本語での解説動画を録画するときに、仕上がりを意識して説明のペースや画面の切り替えを工夫

- ・ テキストで説明している勘定科目コードが使っている会計ソフトのものとは異なっている。

→ その通りであるが・・・

学習簿記・検定試験と実際の経理業務との目的の違いについて理解が浸透する時間がかかるかもしれない。

一方で実務にできるだけ合わせていくことによって、簿記検定試験の受験機会が広がる可能性もある。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

簿記セミナーのオンライン開催に向けて(その他)

□ 簿記セミナーのオンラインを前提とした実施形態

オンデマンド動画の公開方法は予備アンケートで実施したYouTubeによる方法なども考えられる。

→ LNCCIの意向によるが、受講者への公開性とそれ以外の人への非公開性の確保が必要。

□ セミナー受講者の質問やコメントの募集の対応

Googleフォームで募集することもひとつの方法であるが、ラオ語での質問やコメントにはこちらでは対応できない。

→ LNCCIとNOULの協定に基づいて、LNCCIを窓口にしてNOULの教員が対応する案も検討が必要。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

□ 模擬問題や模擬テストの実施

模擬問題の配布は簿記テキストの資料形態に合わせることが適切であると考ええる。

→ 模擬テストはオンラインで実施することもできるが。

◇ 個人的には、簿記セミナーは対面で実施して、そこで模擬テスト(確認テスト)を実施することが望ましいと考える。

しかし、現在はラオスに渡航して以前のようなセミナーを実施することは当面困難であるので、
オンデマンド動画配信による簿記セミナーのオンライン実施が現実的な対応であると思われる。

また、ラオスでの簿記検定試験の実施はスケジュールとしても今年度は非常に厳しいところであるが、
プレテストという形でも実施まで進めていきたい。

◆ 12月中に学生だけでなく、LNCCIの会員企業の関係者も対象としたオンデマンド動画に関する正式なアンケートを実施する予定である。

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

参考文献一覧

伊藤和憲・国田清志. 2018. 「BSCによるプロジェクト・マネジメントの事例研究ーラオスへの複式簿記普及プロジェクトー」
『専修商学論集』107, 19-28.

伊藤和憲・国田清志・菱山淳・岩田弘尚・山崎秀彦・石原裕也・谷守正行. 2019a. 「ラオスの会計制度と会計教育の現状と課題」『会計学研究』45, 1-28.

伊藤和憲・国田清志・菱山淳・岩田弘尚. 2019b. 「ラオスにおける簿記検定試験に向けたテキスト作成とその検討」
『専修大学マネジメント・ジャーナル』9(2), 45-59.

藤田圭一・伊藤誠剛. 2018. 「ラオスにおける会計制度の現状と課題」『PRDディスカッションペーパーシリーズ』
No.18 A - 02, pp.1-22.

令和3年11月30日専修大学経営研究所第3回定例研究会

本日はご清聴ありがとうございました。